

平成 22 年度事業報告について

基本方針

東北新幹線全線開業を迎え、開業効果の県内全域への波及を図るため、青森県の総力を結集した誘客対策として、県や関係団体、JR等と連携しながら、首都圏を青森県の雰囲気でも埋め尽くす「とことん青森MAX in 原宿表参道」の実施等を柱としたオープニングキャンペーンを実施した。

また、新幹線全線開業効果の持続・拡大と本県の観光力の強化を図るため、平成 23 年 4 月 23 日から 7 月 22 日までの 3 か月間、全国の JR グループ 6 社の協力の下、本県初の単独デスティネーションキャンペーンの実施に向け各種事業を展開した。

さらに、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国や台湾に加え、中国の中でも所得が高く、海外旅行志向の高い香港を新たな重点市場として位置付け、積極的な誘客活動を展開するとともに、本県観光産業の振興に直接的な効果が高い教育旅行やコンベンションの誘致にも重点的に取り組んだ。

開業による交流人口の増加をふまえ、青森県観光物産館の情報発信力の拡大や施設内外の魅力の向上に取り組み、引き続き、本県観光物産振興拠点施設としての機能強化を図ったほか、「東日本大震災」により被害を受けた被災者支援のための義援金募集を行った。

1. 観光振興事業

(1) 観光案内所運営事業

東北新幹線全線開業に向け、各観光案内所の連携を強化し、積極的な観光情報の発信や案内業務の充実に努めた。

① 青森県観光総合案内所（県補助事業）

所在地：青森市安方 1-1-40 青森県観光物産館「アスパム」1 階

青森県観光案内所連絡会議

- ・ 期 日 平成 22 年 7 月 21 日(水)
- ・ 場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・ 議 題 ◆東北新幹線全線開業に向けた観光連盟の取組み
◆青森県観光情報サイトについて
◆各案内所からの情報提供について

② 青森県東京観光案内所（県補助事業）

所在地：東京都千代田区富士見 2-3-11「青森県会館」1 階

- ③ 青森空港総合案内所における観光案内業務
運営主体：青森空港ビル株式会社
所在地：青森市大谷字小谷 1-5 青森空港ビル 1 階
- ④ 青森県ミニ観光案内所ネットワーク事業
「青森県ミニ観光案内所」に指定されている県内のガソリンスタンド、
ドライブインに、イベントガイドブック及び観光マップ等を配付し、県内
の観光情報のネットワーク化を図った。(指定箇所：85 か所)

(2) 観光情報発信事業

- ① 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）
青森県観光情報サイト「アプティネット」の管理運営を行い、県、市町
村及び観光施設等と連携しながら最新の観光情報の提供に努めた。
ホームページ (<http://www.aptnet.jp/>)
- ② 「あおもり観光サーベイ」推進事業（県補助事業）
観光客の多様なニーズに対応するため、「あおもり観光サーベイ」サイ
トの運営等を行った。なお、当該サイトについては、インターネットによ
る口コミ情報サイトの普及等により当初の役割を終えたと判断されたこ
とから、平成 23 年 3 月 31 日で廃止した。
ホームページ (<http://www.surveyaomori.jp/index.php>)

(3) 教育旅行誘致事業（県委託事業）

本県への教育旅行の誘致を促進するため、ガイドブック等の誘致資料を
作成し、学校関係者や旅行エージェントに対して情報提供を行った。特に、
首都圏に向けては、東北新幹線全線開業が教育旅行誘致の好機となること
から、積極的な情報発信を行った。

① 教育旅行専門部会等の開催

ア 第 1 回部会

- ・期 日 平成 22 年 4 月 27 日(火)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 21 年度事業報告について
◆平成 22 年度事業計画について

イ 第 2 回部会

- ・期 日 平成 22 年 9 月 15 日(水)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 22 年度事業報告（上半期）について
◆北海道でのプロモーションについて

ウ 第3回部会

- ・期 日 平成 23 年 2 月 28 日(月)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 22 年度事業報告について
◆北海道地区における教育旅行誘致促進について
◆平成 23 年度事業計画(案)について

② 教育旅行誘致資料等の作成等

ア 青森県教育旅行ホームページ(2010年版)の更新

イ あおもり教育旅行ガイドブック概要版の作成

- ・作成部数 30,000 部

ウ あおもり教育旅行ガイドブック 2011 の作成・配布

- ・作成部数 20,000 部

エ あおもり教育旅行DVDの追加制作

- ・制作部数 2,000 部

③ 教育旅行実施状況調査の実施

ア 衛生指導依頼書からの推計値調査(県内6保健所)

イ 県内宿泊施設に対する宿泊状況調査(ホテル・旅館等)

④ 学校関係者・旅行エージェントに対する情報提供

ア 首都圏対策

- ・旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 22 年 8 月 26 日(木)~27 日(金)
- ◆訪問先 首都圏教育旅行関係エージェント 34 か所
- ◆訪問者 教育旅行専門部会員、青森県等 16 名

- ・関係団体招聘

(財)全国修学旅行研究協会

- ◆期 間 平成 22 年 7 月 7 日(水)~9 日(金)

(財)日本修学旅行協会

- ◆期 間 平成 22 年 9 月 8 日(水)~10 日(金)

- ・教育関係団体等の発表会等への参加

東北教育旅行事例発表会(主催:東北観光推進機構)

第6回教育旅行シンポジウム(主催:(財)日本修学旅行協会)

第27回全国修学旅行研究大会(主催:(財)全国修学旅行研究協会)

東北教育旅行情報交換会(主催:東北観光推進機構)

修学旅行・全国の取組み発表会（主催：（株）東武トラベル）

- ・ 首都圏学校等訪問
 - ◆ 期 間 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月
 - ◆ 訪問先 首都圏中・高等学校 7 校
教育関係団体、エージェント等 13 社

イ 北海道対策

- ・ 北東北三県合同教育旅行情報交換会（主催：北東北三県北海道合同事務所）
 - ◆ 期 日 平成 22 年 7 月 1 日（木）
 - ◆ 場 所 札幌市「ホテルニューオータニ札幌」
 - ◆ 参加者 札幌市及び周辺市町村の公立中学校関係者 44 名
- ・ 旅行エージェントキャラバン
 - ◆ 期 間 平成 22 年 6 月 29 日（月）～30 日（火）
 - ◆ 場 所 札幌市、旭川市、小樽市、岩見沢市、苫小牧市、
帯広市の主要旅行エージェント 30 社
 - ◆ 参加者 教育旅行専門部会員、青森県等 19 名
- ・ 旅行エージェント訪問
 - ◆ 期 日 平成 23 年 1 月 21 日（金）
 - ◆ 訪問先 札幌市内旅行エージェント 2 社
- ・ 東北教育旅行セミナー（主催：東北観光推進機構）
 - ◆ 期 日 平成 23 年 1 月 20 日（木）
 - ◆ 場 所 札幌市「ホテルニューオータニ札幌」
 - ◆ 参加者 札幌周辺の主要旅行エージェント 27 名

ウ 関西圏対策

- ・ 関西圏教育関係者東北研修セミナー（主催：東北観光推進機構）
 - ◆ 期 日 平成 22 年 8 月 19 日（木）
 - ◆ 場 所 平川市「南田温泉ホテルアップルランド」
 - ◆ 参加者 学校関係者 19 名
- ・ 旅行エージェントキャラバン
 - ◆ 期 間 平成 22 年 10 月 5 日（火）～6 日（水）
 - ◆ 場 所 大阪市、神戸市の教育旅行関係エージェント 5 社
 - ◆ 参加者 教育旅行専門部会員、青森県等 6 名
- ・ 東北教育旅行セミナー・事例発表会（主催：東北観光推進機構）

- ◆期 日 平成 22 年 10 月 6 日(水)
- ◆場 所 大阪市「ホテル大阪ベイタワー」
- ◆参加者 関西圏学校関係者、旅行エージェント 56 名

エ 海外対策

- ・中国・韓国訪日教育旅行関係者意見交換会（主催：日本政府観光局）

- ◆期 間 平成 22 年 12 月 1 日（水）～3 日（金）
- ◆場 所 大阪市「ホテルグランヴィア大阪」
- ◆参加者 中国旅行エージェント 15 社
韓国旅行エージェント 16 社

- ・韓国高等学校視察団との意見交換会（主催：韓国修学旅行誘致実行委員会）

- ◆期 日 平成 23 年 1 月 19 日(水)
- ◆場 所 青森市「ホテル青森」
- ◆参加者 韓国高等学校関係者 16 名 県内観光事業者 23 名

⑤ 教育旅行誘致広告の掲載

月刊誌「教育旅行」1月号（発行：(財)日本修学旅行協会）

(4) コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に直接的な効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の強力な動機付けとなる開催助成金を交付するとともに、積極的な誘致活動に取り組んだ。

また、県の緊急雇用創出対策事業を活用して、コンベンション誘致調査員及びコンベンション誘致専門員を配置し、コンベンション経済波及効果等の調査やコンベンション誘致活動や開催団体への支援活動を行った。

① コンベンション誘致専門部会等の開催

ア 第 1 回部会

- ・期 日 平成 22 年 4 月 27 日(火)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 21 年度事業報告について
◆平成 22 年度事業計画及び収支予算について

イ 第 2 回部会

- ・期 日 平成 22 年 9 月 15 日(水)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 22 年度コンベンション開催助成事業の進捗状況について

ウ 第 3 回部会

- ・期 日 平成 23 年 2 月 28 日(月)
- ・場 所 青森市 「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 22 年度事業進捗状況について
◆平成 23 年度事業計画（案）について

エ 正副部会長会議

- ・期 日 平成 22 年 11 月 10 日(水)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆IME2010 への対応について
◆戦略的コンベンション誘致拡大事業について

② コンベンション誘致促進事業（県補助事業）

ア コンベンション開催費助成事業

コンベンション主催者に対し、開催費助成金を交付した。

- ・交付実績：助成先 33 団体・助成金額 17,920 千円

イ コンベンション誘致活動事業

開催助成金制度のPRや首都圏等への誘致活動を実施した。

- ・コンベンション施設ガイド(IME 配付用)の作成：発行部数 200 部
- ・コンベンション施設ガイド(誘致活動用)の作成：発行部数 500 部
- ・ホームページによる情報提供
- ・第 20 回国際ミーティングエキスポ（IME2010）への参加

③ コンベンション誘致調査事業（県委託事業）

県の緊急雇用創出事業を活用して、コンベンション誘致調査員を配置し、開催助成金を活用した 20 コンベンション参加者を対象に、アンケート調査を実施し、経済波及効果等について調査した。

- ◆実施期間 平成 22 年 4 月 1 日(木)～平成 23 年 3 月 31 日(水)
- ◆配置人員 コンベンション誘致調査員 2 名

④ コンベンション誘致・開催支援事業（県委託事業）

県の緊急雇用創出事業を活用して、当連盟及び青森・弘前・八戸の各観光コンベンション協会にコンベンション誘致専門員を各 1 名配置し、コンベンション誘致活動や開催団体の支援活動を行った。

- ◆実施期間 平成 22 年 12 月 21 日(火)～平成 23 年 3 月 31 日(水)
- ◆配置人員 コンベンション誘致専門員 4 名

(5) 外国人観光客誘致拡大事業

韓国、台湾、香港等への積極的な誘致活動を実施したほか、県のふるさと雇用再生特別対策事業を活用して、語学に堪能な国際観光サポートコーディネーターとアドバイザーを配置し、受入体制の整備に努めた。

① 国際観光専門部会の開催

ア 第1回部会

- ・期 日 平成 22 年 4 月 27 日(火)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 21 年度事業報告(案)について
◆平成 22 年度事業計画について

イ 第2回部会

- ・期 日 平成 22 年 9 月 15 日(水)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆最近の台湾・香港訪日旅行事情について
台湾・香港観光振興顧問 向井 純氏
◆平成 23 年度のインバウンド対策事業(案)について

ウ 第3回部会

- ・期 日 平成 23 年 2 月 28 日(月)
- ・場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ・議 題 ◆平成 23 年度のインバウンド対策について

② 韓国人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

青森・ソウル国際定期便を利用した韓国からの誘客を促進するため、大韓航空、韓国旅行エージェント等とタイアップした誘客宣伝事業等を実施した。

ア 主力商品販売対策

・ゴルフファミツアー

- ◆期 間 平成 22 年 6 月 25 日(金)～27 日(日)
- ◆場 所 県内ゴルフ場等
- ◆招聘者 韓国旅行エージェント 6 社

・スキーファミツアー

- ◆期 間 平成 23 年 1 月 7 日(金)～9 日(日)
- ◆場 所 県内スキー場等
- ◆招聘者 韓国旅行エージェント 6 社、韓国マスコミ 2 社

・バックカントリースキーモニターツアー

- ◆期 間 平成 23 年 3 月 4 日(金)～8 日(火)
- ◆場 所 県内スキー場等
- ◆招聘者 モニター32 名、韓国旅行エージェント 2 名、マスコミ 2 社

イ 閑散期販売対策

- ・青森連合商品販売促進に係る広告助成
青森・ソウル線の運行曜日の変更等による韓国人利用者の伸び悩みを踏まえ、販売促進に係る経費の一部を支援した。
- ◆支援先 (株)世界KRT (青森連合社幹事社)
- ◆期間 平成23年1月11日(火)～3月22日(火)

ウ 教育旅行誘致対策(再掲)

- ・中国・韓国訪日教育旅行関係者意見交換会(主催:日本政府観光局)
 - ◆期間 平成22年12月1日(水)～3日(金)
 - ◆場所 大阪市「ホテルグランヴィア大阪」
 - ◆参加者 中国旅行エージェント15社
韓国旅行エージェント16社
- ・韓国高等学校視察団との意見交換会(主催:韓国修学旅行誘致実行委員会)
 - ◆期日 平成23年1月19日(水)
 - ◆場所 青森市「ホテル青森」
 - ◆参加者 韓国高等学校関係者16名 県内観光事業者23名

エ 知名度向上特別事業

- ・ウェブ活用冬季観光キャンペーン
韓国のインターネット情報サイト「NEVER」を活用し、冬の青森の魅力や大韓航空連合社の冬季旅行商品をPRした。
- ◆期間 平成23年1月～3月
- ・「VISIT JAPAN トラベルマート2010」への参加
 - ◆期間 平成22年11月24日(水)～26日(金)
 - ◆場所 千葉市「幕張メッセ国際展示場」
- ・韓国メディア招聘事業(函館市とのVJC事業)
 - ◆期間 平成23年2月11日(金)～13日(日)
 - ◆招聘者 KBS2チャンネル

オ トレッキングツアー誘致推進事業

- ・トレッキングファムツアー
 - ◆期間 平成22年10月21日(木)～24日(日)
 - ◆場所 白神山地、岩木山
 - ◆招聘者 韓国旅行エージェント1社、韓国マスコミ3社

- ・トレッキング商品販売促進に係る広告助成

- ◆期 間 平成 22 年 9 月～平成 23 年 2 月
- ◆支援先 (株)世界 K R T、(株)グリーンツアー

カ 青森・ソウル線利用促進対策

- ・青森・ソウル線利用促進ミッションへの参加

県主催の青森・ソウル線利用促進ミッションに参加し、韓国の主要観光団体や旅行エージェントに対して青森の観光の魅力を情報提供するなど、観光プロモーションを行った。

- ◆期 間 第 1 回：平成 22 年 4 月 4 日(日)～7 日(水)

第 2 回：平成 22 年 9 月 5 日(日)～8 日(水)

③ 青森旅行主力商品強化促進事業

青森・ソウル線を利用した韓国からの誘客を強化するため、韓国の旅行エージェントによる祭りなど青森県ならではの観光資源を付加した魅力的な青森旅行商品の造成を支援した。

- ◆対象とする青森旅行主力商品

青森・ソウル線を片道または往復利用し青森県内へ 1 泊以上宿泊する旅行商品（対象期間：平成 22 年 5 月～平成 23 年 3 月）

- ◆対象経費及び支援額

商品企画費、広告宣伝費、モニターツアー経費、キャンペーン経費の 1/2 以内で 1 企画 150 万円以内

- ◆支援実績

5 社 7 商品

④ 韓国人スター活用青森観光 P R 事業

韓国人俳優イ・ソジン氏の協力により、県内観光スポットにおけるテレビ及び雑誌の取材を行い、日韓両国内への情報発信による本県のイメージアップと P R を行った。

ア テレビ

- ・韓国 K B S ・「芸能界中継」（平成 22 年 8 月）
- ・韓国 X T M チャンネル・「スターの旅」（平成 23 年 3 月）
- ・青森放送・特集番組「イ・ソジン青森に行く」（平成 23 年 3 月）

イ 雑誌

- ・「ARENA HOMME PLUS（2010 年 12 月号）」（男性ファッション誌）

ウ その他

- ・青い海公園でのブナの記念植樹（平成 22 年 8 月 2 日）

⑤ 国際観光客誘客促進事業（県委託事業）

〔台湾・香港対策〕

ア 台湾・香港セミナーの開催

台湾・香港観光アドバイザーによるセミナーを開催し、併せて県内観光事業者への指導・助言を行った。

◆期 間 平成 22 年 9 月 13 日(月)～15 日(水)

◆場 所 弘前市、平川市及び青森市

イ 台湾・香港観光プロモーション事業

台湾及び香港からの誘客促進を図るため、県内観光事業者・団体とともに観光プロモーションを行った。

◆期 間 平成 22 年 12 月 19 日(日)～22 日(水)

◆場 所 台北市・香港市

◆内 容 観光PR（津軽三味線演奏、パンフレット・ノベルティ配付）

主要旅行エージェント訪問(台北市 2 社、香港市 2 社)

商談会及びセミナー開催

ウ 台湾・香港冬季誘客促進事業

台湾及び香港からの冬季の誘客促進を図るため、本県の宿泊施設に 1 泊以上宿泊した台湾及び香港からの観光客（団体ツアー）に県産品を提供した。

◆期 間 平成 23 年 1 月～3 月

◆提 供 品 りんごジャム

◆提供人数 317 人

〔上海対策〕

上海万国博覧会・青森県ウィーク実行委員会への参画

上海からの誘客促進を図るため、同実行委員会に参画し県及び関係団体と連携して青森県の祭りや伝統芸能の披露、観光プロモーション映像等により青森県の観光の魅力を紹介・宣伝した。

◆期 間 平成 22 年 7 月 6 日(火)～11 日(日)

◆場 所 上海市

⑥ 国際観光サポート事業（県委託事業）

県のふるさと雇用再生特別対策事業により語学に堪能な人材を配置し、県内の観光事業者の受入意識を向上させるとともに、観光地の宿泊施設や観光施設等の外国語表記等を助言し、外国人観光客に対する受入体制の整備を図った。

・期 間 平成 22 年 4 月 1 日(木)～平成 23 年 3 月 31 日(木)

・人 員 4 名（コーディネーター1 名、アドバイザー3 名）

ア 外国人受入セミナー開催

県内の観光事業従事者を対象に、セミナーを開催し、受入に係る注意点や外国語による簡単な挨拶、案内について講義した。

◆実績：7市町村 33回（英語 11回、中国語 9回、韓国語 13回）

イ 観光地外国語表記整備

観光地の宿泊施設、観光施設、公共施設等の案内表示にかかる外国語表記等の助言を行った。

◆実績：11市町村 119件（英語 45件、中国語 38件、韓国語 36件）

ウ インバウンド事業支援

県や市町村のインバウンド事業において、通訳・翻訳業務の支援を行った。

◆実績：24件（英語 7件、中国語 3件、韓国語 14件）

⑦ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業（県委託事業）

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

・設置場所

大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館 7階

・運営主体

北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会

・構成員

北海道、青森県、岩手県、秋田県、（社）北海道貿易物産振興会、（社）青森県観光連盟、（財）岩手県観光協会、（社）秋田県観光連盟

イ 主な事業内容

・北東北3県・北海道観光ビジネス商談会

第1回

◆期 日 平成 22 年 9 月 7 日(火)

◆場 所 ソウル市 「ソウルプラザホテル」

◆参加者 日本側：4道県 44団体 67名（青森県 14団体 19名）
韓国側：旅行エージェント 89社 145名
マスコミ 10社 12名

第2回

◆期 日 平成 23 年 3 月 2 日(水)

◆場 所 ソウル市 「ソウルプラザホテル」

◆参加者 日本側：4道県 50団体 55名（青森県 10団体 13名）
韓国側：旅行エージェント 85社 129名
マスコミ 5社 5名

- ・北東北3県・北海道共同プロモーション事業
 - 韓国メディアと一般公募のモニター2名を招き、弘前の洋館めぐりやスイーツ食べ歩き、十和田湖・奥入瀬溪流の自然の中でのアクティビティや温泉等の個人旅行客向けの魅力を情報発信した。
 - ◆期間 平成22年8月9日(月)～11日(水)
 - ◆掲載誌 韓国フリーマガジン「M25」

- ・各種イベント出展
 - 第23回韓国国際観光展(KOTFA):平成22年6月3日(木)～5日(土)
 - ビジット・ジャパン韓国現地商談会2010ソウル:平成22年6月4日(金)
 - 日韓交流まつり:平成22年10月2日(土)～3日(日)

- ・ホームページの運営 (<http://www.beautifuljapan.or.kr>)

(6) その他観光振興事業

① 「もてなしの心」運動推進事業

ア クリーン大作戦事業

(7) 春のクリーン大作戦

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切にし、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部とともに「春のクリーン大作戦」を開催した。

- ◆期 日 平成22年4月7日(土)
- ◆実施場所 県内各地
- ◆参加人数 約10万人

(イ) ようこそ青森へ！クリーン大作戦（市町村振興協会助成事業）

平成22年12月4日の東北新幹線全線開業の2か月前記念事業として、小さな親切運動青森県本部とともに「秋のクリーン大作戦」を開催した。

- ◆期 日 平成22年10月2日(土)
- ◆実施場所 県内各地
- ◆参加人数 約10万人

イ ようこそ青森へ！ステッカー掲出事業（市町村振興協会助成事業）

県内のタクシーやバスに歓迎の意を表する「ようこそ青森へ！」ステッカーを掲示し、おもてなし溢れる接遇の向上と東北新幹線全線開業の全県的な気運の醸成・周知を図った。

- ◆期 間 平成22年7月23日(木)～平成23年2月28日(月)
- ◆場 所 県内一円
- ◆掲出枚数 バス用 847枚、タクシー用 3,100枚

ウ 観光ボランティアガイド県大会開催事業（県補助事業）

県内ボランティアガイド団体構成員等が一堂に会し、先進事例の研修や県内の事例発表など、ガイド相互のスキルアップ、情報交換等の場として観光ボランティアガイド県大会を開催し、県全体の観光ボランティアの底上げを図った。

- ◆期 日 平成 22 年 11 月 23 日(火・祝)
- ◆場 所 青森市「青森国際ホテル」
- ◆参加団体 27 団体
- ◆参加人数 139 名

② 人材育成研修事業（主催：(社)日本観光協会）

ア 観光サービス研修

- ◆期 日 平成 22 年 9 月 1 日(水)
- ◆場 所 青森市「アップルパレス青森」
- ◆受講者 81 名

イ 訪日外国人受入業務研修

- ◆期 日 平成 22 年 9 月 2 日(木)
- ◆場 所 青森市「アップルパレス青森」
- ◆受講者 36 名

ウ 地域密着型観光人材養成研修

- ◆期 日 平成 23 年 1 月 24 日(月)
- ◆場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ◆受講者 33 名

エ 通訳案内業務研修

- ◆期 日 平成 23 年 1 月 29 日(土)
- ◆場 所 青森市「青森県観光物産館アスパム」
- ◆受講者 28 名

③ 観光振興事業（県補助事業）

ア (社)日本観光協会中央事業への拠出

(社)日本観光協会が実施する全国的または重点的な事業に対し、拠出した。

イ 観光情報等提供事業

本県への旅行の動機付け及び誘客促進のため、旅行情報誌等を活用し、本県の魅力ある観光資源の周知・宣伝を行った。

④ 各種観光関連団体実施事業への参画

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会とタイアップし、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備・誘客促進並びにPRに努めた。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構及びその支部である青森県観光誘致協議会とタイアップし、東北各県との広域観光の推進を図った。

⑤ 観光写真ポジフィルム整備事業

県観光総合案内所に設置している観光写真ポジフィルムライブラリーの整備・充実を図った。

2. 観光キャンペーン事業

(1) 大型観光キャンペーン推進事業

東北新幹線全線開業の効果を最大限に獲得し、交流人口の拡大を図るため、平成21年度から3か年にわたる「大型観光キャンペーン」を展開しているが、平成22年度においては、オープニングキャンペーンを実施し、新幹線全線開業や青森県の観光の魅力を全国に強力に情報発信した。

① 「とことん青森 in 東京」の開催

平成22年12月4日の新幹線開業に合わせて、青森県をアピールする事業を集中的かつ多面的に実施し、東京を青森県の雰囲気ですぐ埋め尽くす「とことん青森 in 東京」を開催した。

◆期 間：平成22年10月25日(月)～11月28日(日) 35日間

◆場 所：原宿表参道、表参道ヒルズ、東京国際フォーラム、全労済ホールほか

◆主 催：青森県、(社)青森県観光連盟ほか

② 「とことん青森MAX in 原宿表参道」の開催

首都圏民に青森県と新幹線全線開業を強く印象付け、話題を喚起することを目的に、東京を青森県の雰囲気ですぐ埋め尽くす「とことん青森 in 東京」の中核イベントとなる「とことん青森 in 原宿表参道」を開催した。

◆期 間：平成22年10月25日(月)～11月7日(日) 14日間

◆場 所：原宿表参道、明治神宮、表参道ヒルズほか

◆主 催：青森県、(社)青森県観光連盟

◆内 容

商店街振興組合原宿表参道櫺会、明治神宮及びJR東日本の協力の
下、次のとおり各種イベントを開催した。

ア 表参道バナーフラッグの掲出(10月25日～11月7日 14日間)

原宿表参道櫺会の協力を得て、表参道にバナーフラッグを掲出し、
新幹線開業と青森県を強く印象付けた。

イ とことん青森カフェ&レストラン(10月25日～11月7日 14日間)

表参道のカフェ及びレストラン31店舗で県産食材を使用したスニ
ーツや料理のメニューを開発・提供していただいた。

ウ お祭り工房(10月26日～29日 3日間)

明治神宮第一鳥居広場(南門)において、来場者に青森ねぶたの
制作過程をご覧いただいた。

エ 青森四大祭り競演(10月30日～11月1日 3日間)

第一会場である明治神宮第一鳥居広場(南門)には青森ねぶたと
弘前ねぶた、第二会場である明治神宮第一駐車場には八戸三社大祭
と五所川原立佞武多の山車を展示するとともに、期間中、それぞ
れの囃子の競演を実施した。

オ 青森ご当地グルメ屋台村(10月30日～11月3日 5日間)

明治神宮第一駐車場に、八戸せんべい汁、黒石つゆ焼きそば、十
和田バラ焼きなど県内各地のご当地グルメを集めた屋台村を設置し、
青森県の「食」への興味を高めた。

カ お祭りステージ(10月30日～11月3日 5日間)

明治神宮第一駐車場に、県内各市町村の郷土芸能や津軽三味線な
ど多彩な本県の芸能を披露するステージを設置し、本県の文化を紹
介した。

キ とことん青森ギャラリー(11月5日～7日 3日間)

青森県の工芸品を表参道に一堂に展示し、アーティスティックな
街で青森の手仕事への興味を深めていただいた。

ク とことん青森学講座(11月5日～7日 3日間)

青森県の自然、歴史、文化などをとことん学べる講座を開設した。

ケ とことん青森交流広場(11月6日～7日 2日間)

東京と青森をITで繋ぎ、インタラクティブ(双方向)な情報交
流ステージイベントを実施するとともに、県内の物産関係団体や道
の駅などに協力をいただき、本県ならではの様々な特産品などの販
売を行った。

コ “JOMO-T”展 縄文×Tシャツアート展(10月26日～31日 6日間)

縄文から着想を得たアーティストによるTシャツアート展を開催

し、縄文への興味を深めていただいた。

③ 津軽三味線PR隊の派遣

東京都内の飲食店等に「津軽三味線PR隊」を派遣し、東北新幹線全線開業等のPRを行った。

- ◆期間：平成22年10月25日(月)～11月28日(日)
- ◆場所：東京23区内の飲食店等及び「とことん青森」開催会場
- ◆派遣規模：2名1組とし、計50組

④ 郷土芸能PR隊の派遣

県内市町村の郷土芸能PR隊を派遣し、首都圏で新幹線全線開業と青森県の観光PRを実施した。

- ◆期間：平成22年10月30日(金)～11月21日(日)
- ◆場所：「とことん青森」開催会場ほか
- ◆派遣規模：8団体

⑤ マスコミ広報

県内テレビ局等と連携し、東北新幹線全線開業や本県の観光資源の情報を在京キー局を通じて首都圏、全国に放送し、本県への興味や関心を引き上げた。

- ◆実施時期：平成22年9月1日(水)～平成23年2月28日(月)
- ◆在京キー局：日本テレビ、TBS、テレビ朝日、フジテレビ、テレビ東京

⑥ ハガキ・メール大作戦

新幹線全線開業や「とことん青森MAX in 原宿表参道」の内容を記載したハガキやメールを県・市町村職員等から友人・知人に対して送付していただいた。

ア ハガキ

県・市町村職員や観光連盟会員、県新幹線開業対策推進本部会員に配付し、首都圏在住の友人・知人等宛てに送付していただいた。

- ◆配付時期：平成22年10月
- ◆配付枚数：10万枚

イ メール

県・市町村職員から首都圏の企業、団体等に対してメールを送信していただいた。

◆実施時期：平成 22 年 10 月

⑦ 新幹線開業告知

新幹線開業告知ポスター、のぼり、フラッグ等を作成し、県内の交通拠点、観光施設、宿泊施設、商店街等に掲出した。

◆作成時期：平成 22 年 7 月

◆作成枚数：○ポスター 12,500 枚（市町村、商店街、金融機関、宿泊施設等に配付）

○フラッグ 1,600 枚（商店街、観光施設等に配付）

○のぼり 1,500 枚（市町村、観光施設等に配付）

○看板・横断幕 68 か所（観光施設等に設置）

※ポスターについては、(株)三菱製紙から印刷用紙 8,000 枚分の無償提供を受け、青森県印刷工業組合より無償印刷していただいた。

(2) 青森デスティネーションキャンペーン推進事業

東北新幹線全線開業効果の持続・拡大と本県観光力の強化を図るため、平成 23 年 4 月 23 日から 7 月 22 日までの 3 か月間、全国の JR6 社の協力のもと青森デスティネーションキャンペーン（青森 DC）を実施することとし、その準備を進めた。

① 全国宣伝販売促進会議

ア 全国宣伝販売促進会議の開催

青森 DC 本番に向けた旅行商品の造成や送客、本県観光情報の発信を要請するため、全国から旅行エージェントやマスコミ関係者、JR 関係者等を招き、県内各地の観光資源や青森 DC 期間中におけるさまざまな取組などを紹介する「全国宣伝販売促進会議」を開催した。

(7) 開催日及び場所

◆全体会議等

平成 22 年 5 月 19 日(水) 青森市「ホテル青森」

◆エキスカーション

平成 22 年 5 月 20 日(木)～21 日(金) 県内一円

(1) 内容

a 全体会議

各地の観光素材や青森DC本番に向けた取組などのプレゼンテーションを行い、本県向け旅行商品の造成・販売、本県への集中的な送客を要請した。

b 観光PRコーナー

県内各地域ごとに観光PRブースを設置し、ポスターやパンフレット等により各地域の観光資源を旅行エージェント等にPRした。

c 観光商談会

地元の自治体や観光事業者等と旅行エージェント等との個別商談会を開催し、本県向け旅行商品の造成促進を図った。

◆参加旅行エージェント等 12社（20ブース）

d 青森まるごと体験コーナー

全国からの旅行エージェント等に県内各地の体験メニューを体験していただき、旅行商品造成等に役立てていただいた。

【体験メニュー】

津軽塗（箸塗り体験）、津軽びいどろ（ガラス玉作り）、てんぽせんべい作り、八幡馬（色付け体験）、下北ヒバ工芸（木工体験）

e レセプション

地元食材を使った料理や地酒、各地の郷土料理やご当地グルメ等を提供し、青森の食の魅力をPRした。

f エキスカーション

県内を7つのコースに分け、旅行エージェント等に青森DC本番に向けた旅行商品造成等のための視察をしていただいた。

○北のまほろば青森・浅虫温泉と津軽半島の歴史・景観コース

○和と洋の街弘前と津軽のあずましい魅力満喫コース

○心じゃわめぐ奥津軽と西海岸・白神山地コース

○八甲田・奥入瀬・十和田湖&大館・小坂コース

○横浜町の菜の花と八戸市周辺満喫コース

○下北半島満喫・周遊コース

○新緑の八甲田と津軽のいいとこどりコース

(ウ) 参加者数

◆全体会議 約800人

○旅行エージェント、JR、マスコミ関係者等 約450名

○地元自治体、観光関係団体、観光事業者等 約350名

◆レセプション 約700人

◆エキスカーション 約200人

イ 海外メディア招請事業

日本政府観光局（J N T O）、J R 東日本及び県と連携し、海外からメディア関係者を招請し、全国宣伝販売促進会議に参加していただくとともに、県内各地を視察していただき、海外からの誘客促進を図った。

◆招請期間：平成 22 年 5 月 19 日(水)～21 日(金)

◆招請人数：韓国 3 名、台湾 3 名、香港 3 名

ウ 全国宣伝販売促進会議用「キャンペーンガイドブック」の作成

青森 D C 本番に向けた旅行商品の造成促進を図るため、各地域の代表的な観光資源やキャンペーン期間中における主な取組、食、温泉の魅力などを掲載したキャンペーンガイドブックを作成した。

◆作成部数：2,000 部

エ 「イベント・観光素材等提案集」の作成

青森 D C 本番に向けた旅行商品の造成促進を図るため、各地の観光資源やキャンペーン期間中における取組、イベント情報等を掲載した「イベント・観光素材等提案集」を作成した。

◆掲載件数：1,573 件

◆作成部数：2,000 部

オ 「行くたび、あたらしい。青森」フォトコレクションの作成

青森 D C 本番に向けた旅行商品の造成促進を図るため、各地の観光資源等の画像データを C D にまとめたフォトコレクションを作成した。

◆作成枚数：2,000 枚

② 共同記者会見

青森 D C 本番に向けた今後の取組み等について、青森県知事、青森 D C 推進委員会会長、J R 東日本盛岡支社長及び秋田支社長による共同記者会見を開催した。

◆期 日：平成 23 年 2 月 24 日(木) 13:30～14:00

◆場 所：県庁 第 3 応接室

③ 宣伝・広報事業

ア 青森 D C 「V I マニュアル」の作成

青森 D C のキャッチフレーズやマスコットキャラクターのデザインを各方面で幅広く適切に活用していただくため、V I マニュアルを作成し

た。

イ ホームページ等の開設・運用

青森DCの概要や各地の取組状況、観光情報、イベント情報等を全国に発信するとともに、県民への周知と青森DCへの参加意識の高揚を図るため、公式ホームページ及びブログ等を開設し、運用した。

◆公式ホームページ

<http://www.aomoridc.com>

◆スタッフブログ

http://blog.goo.ne.jp/aomori_dc

◆いくべえ活動ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/ikube2011>

◆いくべえツイッター

<http://twitter.com/ikube2011>

ウ 青森DC携帯サイト「青森原人検定」の開設・運用

本県ならではの地元ネタを携帯サイトにおいてクイズ方式で紹介することにより、携帯サイトのユーザーである若い層に青森県への関心を持っていただくことを目的に、携帯サイト「青森原人検定」を開設した。

◆青森原人検定

<http://www.aomoridc.com/>

エ 青森DCガイドブックの作成

青森DC本番に向けて、全国からの誘客促進を図るため、各地の観光資源やキャンペーン期間中における取組、イベント情報等を満載したガイドブックを作成した。

◆作成部数：80万部

◆配付先：全国のJR主要駅、県内外の観光案内所、市町村ほか

オ 「別冊旅の手帖」の発行

青森DCの協賛会社である(株)交通新聞社と連携し、青森県の観光の魅力をまるごと1冊に特集した旅行誌「別冊旅の手帖 行きたび、あたらしい。青森」を発行した。

◆作成部数：1,000部

※このほか、全国の書店・キヨスクなどで発売。

カ JR主要駅へのカラーコルトン掲出

青森DCの告知や各地の観光資源のPRを図るため、JR東日本管内の主要駅にカラーコルトンを掲出した。

- ◆掲出場所：JR東京駅、上野駅、新橋駅、仙台駅
- ◆掲出期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日
- ◆掲出枚数：東京駅2枚、上野駅11枚、新橋駅6枚、仙台駅1枚
計20枚

キ 「いくべえ」の着ぐるみの制作・活用等

青森DCマスコットキャラクター「いくべえ」の着ぐるみを制作し、全国宣伝販売促進会議をはじめ、各種キャンペーンイベント等で青森DCのPRに活用した。

また、併せて「いくべえ」のぬいぐるみやストラップを制作し、県内観光施設等に配付した。

- ◆制作数：着ぐるみ5体、ぬいぐるみ500個、ストラップ3,000個
- ※このほか、ぬいぐるみ、ストラップについては、アスパム1階「地場セレクト」でも販売。

ク カウントダウンボードの設置

県内主要駅等に青森DCスタートまでのカウントダウンボードを設置し、青森DCのPRを図った。

- ◆設置場所：新青森駅、七戸十和田駅、八戸駅、青森駅、弘前駅、五所川原駅、むつ来さまい館、県庁、アスパム 計9か所

④ 誘客対策事業

ア 観光キャラバンの実施

青森DCへの誘客促進を図るため、市町村や観光関係団体、観光事業者等と連携し、観光キャラバンを実施した。

(ア) 首都圏販促キャラバン・ミニイベントの実施

- ◆期 間：平成22年6月25日(金)～27日(日)
- ◆訪 問 先：JR東日本、JTB首都圏主要支店、近畿日本ツーリスト、JALなど

(イ) 首都圏旅行エージェント等訪問

- ◆期 間：平成22年7月22日(木)～23日(金)
- ◆訪 問 先：観光庁、JTB、日本旅行、JALツアーズ、近畿日本ツーリスト、など

(ウ) 名古屋・大阪旅行エージェント訪問

- ◆期 間：平成 22 年 9 月 16 日(木)～17 日(金)
- ◆訪 問 先：名古屋：JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、阪急交通社など
- 大 阪：近畿日本ツーリスト、阪急交通社、読売旅行、毎日新聞大阪開発など

(I) 青森 D C 観光キャラバン

- ◆期 間：平成 23 年 2 月 15 日(火)～16 日(水)
- ◆訪 問 先：JR 東日本東京支社で開催された「びゅう商品説明会」に出席し、青森 D C の P R を行った後、JR 東日本全 12 支社を訪問し、青森 D C の宣伝・送客の強化を要請した。

イ 「びゅうプラザ現地販売促進会議」への協力

青森 D C に向け、びゅうプラザカウンター社員等の知識向上を図ることを目的として JR 東日本が開催した現地販売促進会議に協力した。

- ◆期 間：平成 22 年 9 月 2 日(木)～3 日(金)
- ◆参加者数：首都圏等のびゅうプラザ職員等 約 120 名

ウ 5 連ポスターの作成

青森 D C に向けて全国からの誘客促進を図るため、JR の月別重点宣伝地域指定に合わせて 5 連貼りポスターを作成し、全国の JR 主要駅に掲出した。

- ◆作成枚数：8,000 枚 (5 種類×1,600 枚)

エ 県内向け青森 D C 告知ポスターの作成

青森 D C 本番に向けて、県内各地の観光資源等を掲載した告知ポスターを作成し、会員施設等に配付した。

- ◆作成枚数：1,000 枚

オ 「あおもり満喫スタンプラリー」ガイドブックの作成

青森 D C への誘客促進と県内周遊を促進するため、自治体、観光関係団体、観光事業者等と連携し、青森 D C 期間中にスタンプラリー形式のプレゼントキャンペーンを実施することとし、その専用ガイドブックを作成した。

- ◆作成部数：20 万部

カ 旅行商品の造成支援

青森DCに向けた旅行商品の造成促進を図るため、各旅行エージェントの商品パンフレットの制作を支援した。

⑤ 観光開発・受入体制整備事業

ア 観光開発の推進

県、市町村、観光関係団体、観光事業者等と連携を図りながら、青森DC本番に向けた観光資源の掘起しや磨き上げなどの取組を一層加速した。

イ 観光客受入体制の整備

県、市町村、観光関係団体、観光事業者等と連携を図りながら、県民や観光施設・交通機関従業員などのおもてなしの向上など観光客受入体制の整備を図った。

ウ エリア別ガイドブックの作成

青森DCの着地型パンフレットとして、各地域の観光資源やイベント情報、二次交通情報等を掲載したエリア別ガイドブックを作成した。

◆作成部数：21万部（3エリア×7万部）

※3エリアの区分けについては、旅行者視点に立ち、「青森・八甲田・十和田エリア」「津軽・西海岸エリア」「県南・下北エリア」とした。

エ ピンバッジ・ワッペン等の作成

青森DCに向けた県民の意識啓発を図るとともに、観光客をおもてなしの心でお迎えするため、会員が着用するピンバッジや、交通機関・宿泊施設等の従業員が着用するワッペン及び県・市町村職員が名札等に貼付するシールを作成した。

◆ピンバッジ

○作成個数：7,000個

○配付先：会員等

◆ワッペン

○作成枚数：17,000枚

○配付先：県バス協会、県タクシー協会、県旅館ホテル生活衛生同業組合、県バンケットプロデュース協会

◆名札用シール

○作成個数：5,000シート（1シート100枚）

○配付先：県職員、市町村職員

(3) 新幹線開業キャンペーンの展開

首都圏を中心に各種新幹線開業キャンペーンイベントを開催したほか、ＪＲ東日本が実施するキャンペーンと連携したキャンペーン、メディアを活用した広報宣伝等を重層的に展開した。

① 上野駅観光ＰＲキャンペーンの実施

東北新幹線全線開業及び青森ＤＣに向け、首都圏の方々にＰＲ活動を行い、誘客促進を図るため、青森市立沖館中学校の生徒と共同で観光ＰＲキャンペーンを行った。

- ◆期 日：平成 22 年 6 月 30 日(水)
- ◆場 所：ＪＲ上野駅構内（ガレリア、公園口、広小路口、入谷口）
- ◆内 容：○青森県の観光パンフレットによるＰＲ
○青森市立沖館中学校の修学旅行生によるＰＲ（生徒自作のパンフレット・たすきによるＰＲ活動）

② 「近づく、感じる。青森」観光ＰＲキャンペーンの開催

東北新幹線全線開業キャンペーンのオープニングイベントとして、ＪＲ大宮駅及びＪＲ仙台駅において「近づく、感じる。青森」観光ＰＲキャンペーンを開催し、首都圏及び東北からの誘客促進を図った。

- ◆期 間：大宮駅 平成 22 年 10 月 15 日(金)～17 日(日) 3 日間
仙台駅 平成 22 年 11 月 12 日(金)～14 日(日) 3 日間
- ◆場 所：ＪＲ大宮駅西口改札外イベントスペース
ＪＲ仙台駅 2 階コンコース内イベントスペース
- ◆内 容：○観光ＰＲコーナー（県内観光地、食、温泉等）
○東北新幹線全線開業ＰＲコーナー
○青森ＤＣＰＲコーナー
○イベントステージ（津軽三味線・えんぶりの披露、各地のミス等による観光ＰＲ） など

③ 東北新幹線全線開業記念イベントの開催

ＪＲ東日本の「地域再発見プロジェクト」の一環として、東北新幹線全線開業を記念して東京駅及び上野駅において記念イベントを開催した。

ア ＪＲ東京駅

- ◆期 間：平成 22 年 12 月 4 日(土)～19 日(日)
- ◆場 所：ＪＲ東京駅 エキュート東京、グランスタダイニングほか
- ◆内 容：○駅内 13 ショップにて青森県の食材を使ったスイーツや惣菜などを提供

○東京駅限定青森県厳選食材オリジナルメニューの提供
など

イ JR上野駅

- ◆期間：平成22年12月15日(水)～17日(金)
- ◆場所：JR上野駅中央改札口グランドコンコース
- ◆内容：○青森の産直野菜、果物、名産品の販売
○旅情報満載！観光PRコーナー設置 など

④ 「日本の旬 東北」キックオフミーティングへの参画

JTBの「日本の旬 東北」キャンペーンのキックオフミーティングに参画し、青森県の観光PRを実施した。

- ◆期 日：平成23年2月25日(金)
- ◆場 所：東京都「ホテルメトロポリタンエドモント」
- ◆内 容：○東北観光PRコーナーでの観光PR
○キックオフミーティング会場での東北各県のプレゼンなど

⑤ 首都圏駅イベント・キャラバンの実施

JR東日本とタイアップし、首都圏のJR駅等でミニイベントや観光キャラバンを実施し、本県の観光情報の発信を図った。

- ◆期 間：平成23年3月3日(木)～7日(月)
- ◆場 所：八王子駅、吉祥寺駅、川崎駅、上野駅
- ◆内 容：観光案内及び観光パンフレットの配布、クイズ大会 など

⑥ JR東日本の重点販売地域指定と連動した観光キャンペーンの実施

東北新幹線全線開業に合わせ、JR東日本が県内全域を重点販売地域に指定したことから、共同でこれと連動したキャンペーンを展開した。

- ◆期 間：平成22年12月1日(水)～平成23年3月31日(木)
- ◆タイトル：「近づく、感じる。青森」キャンペーン
- ◆内 容：青森県：○B0判ポスターの作成・首都圏等掲出
○トレインチャンネルを活用した首都圏での車内PR
J R：○本県向け旅行商品の造成・販売
○JRの各種宣伝媒体を活用した宣伝展開
連 盟：○あおり紀行冬号の作成(50万部)
○首都圏等でのキャンペーンイベントの開催

⑦ 広告宣伝の展開

東北新幹線全線開業や青森D Cの告知を図るため、旅行関連の新聞に特集記事を掲載した。

ア 旬刊旅行新聞、旬刊旅行新聞タブロイド版「東北特集」

◆掲載時期：平成22年12月1日(水)

◆掲載内容：東北新幹線全線開業及び青森D Cの告知

イ 観光経済新聞

◆掲載時期：平成22年12月4日(土)

◆掲載内容：『青森観光新時代』と題して、新幹線開業や青森D Cについて、知事、JR東日本の原口取締役営業部長、県旅館ホテル生活衛生同業組合 石澤女性部会長、観光連盟 九戸専務理事の座談会記事を掲載。

(4) おもてなしキャンペーン事業

新幹線開業に向けて、本県のテレビ、新聞、ラジオなどの媒体を結集し、「お客様をまごころで迎えるホスピタリティ」の気運を醸成することとし、

○まごころで迎えるホスピタリティマインドのアップ

○笑顔で迎えるスマイルアップ

○きれいな青森県で迎えるクリーンアップ

などを中心とした県民向けの広報活動を展開した。

◆期間：平成22年5月17日(月)～11月30日(火)

◆活用媒体：県内のテレビ3局、新聞3紙、ラジオ2局、コミュニティFM4局、ケーブルテレビ2局

(5) 冬のあおもり満喫モニターツアー事業

本県の冬季観光の振興を図るため、東北新幹線を活用し、首都圏の方々に本県の豊かな温泉や食、冬季観光イベントなど冬の観光の魅力を楽しんでいただく「冬のあおもり満喫モニターツアー」を実施した。

◆期間：平成23年1月11日(火)～3月18日(金)

◆参加者数：1,203名

※東日本大震災により一部モニターツアーが実施不可能となったことから、対象者には県産品を送付した。

(6) 冬季観光情報提供強化事業

東北新幹線等を利用して来県する多くの観光客に、本県の冬の旬の情報(旬の食、イベント、体験メニュー等)を適時的確に提供するため、観光客と身近に接するタクシー・バス等の交通事業者やホテル・旅館等の宿泊施設、

観光関連施設等に、最新の観光情報を掲載したリーフレットを制作・配付し、県内観光事業者等のおもてなしの気運の醸成を図った。

- ◆期 間：平成22年12月～平成23年3月
- ◆発行方法：毎月、県内6エリア毎に発行
- ◆発行部数：120万部（30万部×4か月）

(7) 青森芸術・文化力首都圏発信事業

太宰治生誕100年記念公演で県民をはじめ各方面から高い評価を得た演劇「津軽」の首都圏公演に参画し、青森県の人・自然・芸術・食を首都圏に強くアピールした。

- ◆期 間：平成22年11月26日(金)～28日(日)（4ステージ）
- ◆開催場所：東京都「全労済ホール」

(8) 観光推進員配置事業（県委託事業）

県のふるさと雇用再生特別対策事業により、県内市町村、観光関係団体、観光事業者等の取組やイベント情報等についての収集・発信を行う「観光推進員」を昨年度に引き続き配置し、県内における新幹線全線開業に向けた気運の醸成や本県向け旅行商品の造成促進を図った。

- ◆期 間：平成22年4月1日(木)～平成23年3月31日(木)
- ◆配置人員：2名

(9) マスコットキャラクターおもてなし推進事業（県委託事業）

県の緊急雇用創出対策事業により、「青森デスティネーションキャンペーン推進員」を6名配置し、青森DCに向けた各種PR活動を展開するとともに、本県を訪れる観光客をおもてなしの心で迎える気運醸成の推進を図った。

- ◆期 間：平成23年1月1日(土)～平成23年3月31日(木)
- ◆配置人員：6名

(10) 各種誘客宣伝対策事業

各種観光イベント等で「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」による観光PR等を行うとともに、観光ガイドブック等の制作や首都圏等での観光説明会の開催などを通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

① あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

各種観光キャラバン等において本県観光をPRするキャンペーンスタッフとして、次の5名を任命した。

- 三 浦 由紀子（八戸市出身）
- 三 浦 由 貴（青森市出身）
- 生 田 啓 后（青森市出身）
- 下 館 若 菜（八戸市出身）
- 梶 浦 郁 美（青森市出身）

② 観光ガイドブック等の制作

ア あおもり紀行ガイドブックの制作

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、観光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおもり紀行ガイドブック」を制作した。

- ◆制作部数：夏・秋号 17万部
冬号（新幹線開業特集号） 50万部
- ◆発行時期：夏・秋号 平成22年5月
冬号 平成22年10月

※平成23年春の観光情報については、青森DCガイドブックに掲載。

イ キャンペーン用ビニール袋の制作

各種キャンペーンイベントでパンフレット等を配付するためのキャンペーン用ビニール袋を制作した。

- ◆制作枚数：35,000枚

③ リゾート列車の運行に係る協議会への参画

JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」、八戸駅を起点として下北半島に運行されている「きらきらみちのく下北号」及び東北新幹線全線開業に合わせて津軽線・大湊線に新たに導入となった「リゾートあすなろ」の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレットの作成や、車内での各種イベントを実施した。

④ 航空路線活用対策

青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、九州地方や中国地方からチャーター便を利用して来県した観光客に対して歓迎イベント等を実施した。

- ◆期 日：平成22年10月24日(日)及び27日(水)
- ◆場 所：青森空港

⑤ 新幹線試乗会対策

東北新幹線全線開業に係る試乗会において、ＪＲ東日本及び沿線自治体と連携し、車内及び駅において参加者に本県の観光ＰＲや郷土芸能等の披露を行った。

ア ＪＲ東日本本社主催試乗会

- ◆期 間：平成 22 年 11 月 3 日(水・祝)～4 日(木)
- ◆内 容：特産品プレゼント、ねぶた囃子披露、法霊神楽の披露、ミニねぶた展示等
- ◆参加者数：約 2,000 人

イ 一般公募試乗会

- ◆期 間：平成 22 年 11 月 20 日(土)～21 日(日)
- ◆参加者数：約 5,000 人

⑥ 東北新幹線全線開業イベントへの参画

東北新幹線全線開業を盛り上げるため、東北新幹線全線開業記念事業実行委員会が主催した「VIVA！ FES！新幹線」に参画したほか、開業日当日は新幹線新青森駅開業対策事業実行委員会等と共同で新青森駅において歓迎イベントを実施した。

ア VIVA！ FES！ 新幹線

- ◆期 日：平成 22 年 11 月 13 日(土)
- ◆場 所：青森市「青森市文化会館」
- ◆内 容：○祭りコラボレーション(ねぶた囃子演奏、YOSAKOI演舞)
○新幹線全線開業スペシャルライブ
○青森県の観光ＰＲ、物産の展示・販売 など

イ 新幹線歓迎イベント

- ◆期 日：平成 22 年 12 月 4 日(土)
- ◆場 所：ＪＲ新青森駅
- ◆内 容：新幹線で来県された観光客等に対する観光パンフレットやりんご等の配布、「いくべえ」出迎えなど

⑦ 「はやぶさ」デビュー記念イベントへの参画

新型高速新幹線Ｅ－５系「はやぶさ」のデビューを記念し、新幹線新青森駅開業対策事業実行委員会と共同で新青森駅において「はやぶさ」の歓迎イベントを実施したほか、県が開催した記念イベント「生みの親が語る 宇宙(そら)のはやぶさ×地上(りく)のはやぶさ」に参画した。

ア 「はやぶさ」 歓迎イベント

- ◆期 日：平成 23 年 3 月 5 日(土)
- ◆場 所：ＪＲ新青森駅
- ◆内 容：「はやぶさ」で来県された観光客等に観光パンフレットやリンゴ等を配布など

イ 「生みの親が語る 宇宙(そら)のはやぶさ×地上(りく)のはやぶさ」

- ◆期 日：平成 23 年 3 月 5 日(土)
- ◆場 所：青森市「青森グランドホテル」
- ◆内 容：ロビーでの観光ＰＲコーナーの開設など

⑧ 冬季国体スケート・アイスホッケー競技会での観光ＰＲ事業

本県で開催された第 66 回冬季国体スケート・アイスホッケー競技会の会場において、東北新幹線全線開業や本館観光のＰＲを行った。

- ◆期 日：平成 23 年 1 月 26 日(水)
- ◆場 所：八戸市「八戸市公会堂ホール」

⑨ 十和田湖冬物語への協賛

冬季の誘客対策として、冬季観光の中核イベントである「十和田湖冬物語 2011」に対して協賛した。

- ◆期 間：平成 23 年 2 月 4 日(金)～27 日(日)
- ◆場 所：十和田湖畔休屋

⑩ 各種観光イベント等への参画

ＪＲ東日本や(社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開した。

ア 国内観光活性化フォーラム

- ◆期 日：平成 22 年 4 月 8 日(木)
- ◆場 所：青森市「青森市文化会館」
- ◆主 催：(社)全国旅行業協会

イ ジャスコ洛南店「青森フェア」

- ◆期 間：平成 22 年 5 月 20 日(木)～23 日(日)
- ◆場 所：京都市「ジャスコ洛南店」
- ◆主 催：青森県、イオンリテール(株)

ウ 旅フェア 2010

- ◆期 間：平成 22 年 5 月 28 日(金)～30 日(日)
- ◆場 所：千葉市「幕張メッセ」

- ◆主 催：旅フェア実行委員会
- エ 2010 夏の海と山観光展
 - ◆期 間：平成 22 年 6 月 25 日(金)～28 日(月)
 - ◆場 所：J R 大宮駅
 - ◆主 催：(社)日本観光協会関東支部
- オ 新幹線車両基地まつり
 - ◆期 日：平成 22 年 7 月 24 日(土)
 - ◆場 所：宮城県利府町「J R 東日本新幹線総合車両センター」
 - ◆主 催：J R 東日本仙台支社
- カ ハイウェイコミュニケーション in 東北 2010
 - ◆期 間：平成 22 年 8 月 21 日(土)～22 日(日)
 - ◆場 所：仙台市「勾当台公園市民広場」
 - ◆主 催：東日本高速道路(株)東北支社
- キ 伊丹空港青森県観光 P R
 - ◆期 間：平成 22 年 8 月 28 日(土)～29 日(日)
 - ◆場 所：伊丹空港
 - ◆主 催：青森県、青森空港ビル(株)、三沢空港ビル(株)、青森空
港振興会議、三沢空港振興会
- ク 青森・岩手・秋田物産展
 - ◆期 間：平成 22 年 8 月 31 日(火)～9 月 1 日(水)
 - ◆場 所：大阪市「阪神百貨店」
 - ◆主 催：青森県、岩手県、秋田県
- ケ 羽田空港青森県観光 P R
 - ◆期 間：平成 22 年 9 月 8 日(水)～10 日(金)
 - ◆場 所：羽田空港
 - ◆主 催：青森県、青森空港ビル(株)、三沢空港ビル(株)、青森空
港振興会議、三沢空港振興会
- コ でんきのふるさと青森フェア
 - ◆期 間：平成 22 年 9 月 17 日(金)～18 日(土)
 - ◆場 所：東京都「東京国際フォーラム」
 - ◆主 催：東京電力(株)
- サ 琉球ジャスコ「青森県フェア」
 - ◆期 間：平成 22 年 9 月 21 日(火)～24 日(金)
 - ◆場 所：沖縄県南風原市「ジャスコ南風原店」
 - ◆主 催：青森県、琉球ジャスコ(株)
- シ 刈谷ハイウェイオアシス

- ◆期 間：平成 22 年 9 月 25 日(土)～26 日(日)
 - ◆場 所：名古屋市「刈谷ハイウェイオアシス」
 - ◆主 催：北東北三県名古屋合同事務所
- ス 鉄道フェスティバル in 東北
- ◆期 日：平成 22 年 10 月 3 日(日)
 - ◆場 所：仙台市「JR 貨物 宮城野貨物駅」
 - ◆主 催：鉄道の日実行委員会
- セ 青森・鹿児島共同キャンペーン
- ◆期 間：平成 22 年 10 月 8 日(金)～11 日(月)
 - ◆場 所：大阪市「ホテルモントレ大阪」ほか
 - ◆主 催：青森県、鹿児島県
- ソ 「近づく、感じる。青森」ポスター展
- ◆期 間：平成 22 年 11 月 7 日(日)～25 日(木)
 - ◆場 所：仙台市「ニッカウキスキー(株)仙台工場」
- タ ジャスコ津田沼店「青森フェア」
- ◆期 間：平成 22 年 11 月 12 日(金)～15 日(月)
 - ◆場 所：千葉県「ジャスコ津田沼店」
 - ◆主 催：青森県、イオンリテール(株)
- チ 青森県津軽観光物産首都圏フェア 2010
- ◆期 間：平成 22 年 11 月 26 日(金)～28 日(日)
 - ◆場 所：JR 船橋駅
 - ◆主 催：五所川原市
- ツ ふるさと祭り東京 2011
- ◆期 間：平成 23 年 1 月 8 日(土)～16 日(日)
 - ◆場 所：東京都「東京ドーム」
 - ◆主 催：ふるさと祭り実行委員会
- テ 横浜高島屋物産展
- ◆期 間：平成 23 年 1 月 12 日(水)～17 日(月)
 - ◆場 所：横浜市「横浜高島屋・JR 横浜駅」
 - ◆主 催：(社)青森県物産振興協会
- ト その他
- 県内外で開催された各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおもり紀行キャンペーンスタッフや「いくべえ」による観光PR等を行った。

3. 青森県観光物産館管理運営事業

(1) 青森県観光物産館管理運営事業

青森県の観光物産の情報発信拠点である青森県観光物産館アスパムの各種展示コーナー、館内テナント、館内会議室等の運営・管理を行うとともに、パノラマ映画の全面リニューアルや2階フロアの機能強化等を図った。

なお、平成22年度利用実績については、総利用者数が1,069,378人（対前年比95.9%）、2階パノラマ映画及び13階展望台の有料入館者数は62,543人（対前年比105.3%）となった。

① 青森県観光物産館映画制作事業（県補助事業）

青森県内40市町村の最新の観光資源の紹介を行うため、イヤホンレシーバーによる外国語対応のパノラマ映画の新作を2か年計画（平成21～22年度）により制作した。

- ◆題名：「行くたび、あたらしい。青森」
- ◆上映時間：約22分
- ◆対応言語：英語、中国語、韓国語
- ◆公開時期：平成22年12月1日

② 施設管理運営等事業

ア 館内展示施設等管理運営

13階展望台・2階パノラマ映画など各種展示コーナー及び物産販売店・飲食店、貸会議室・イベントホール等の管理・運営を行ったほか、郷土料理の実演、2階フロアの機能強化及び新たに公衆無線LANの環境を整備した。

また、八甲田丸、ねぶたの家ワ・ラッセとの青森ベイエリア周遊券を新たに設定するとともに、A-FACTORYとも連携しベイエリアの魅力向上を図った。

イ イベントによる誘客対策等

「井どんまつり」や「津軽三味線無料演奏会」など、既存イベントの充実強化を図ったほか、「@ f f あおもり映画祭」とタイアップし、本県ゆかりの映画の上映会を行った。

また、マスコミと連携し、県内40市町村の特産品や郷土芸能を紹介する「結集!!青森まるごとお宝自慢市!」を開催し、地域の情報発信と誘客促進を図った。

ウ 各種広報事業

ホームページやブログ、イベント情報紙（毎月1回発行）、新聞広告などのほか、新たにツイッターによる各種広報活動を行った。

エ 各種観光振興事業への参画

青森市を中心とした観光施設を紹介するハンドブック「観光手形」、

市内観光施設循環ルートバス事業に参画したほか、JR新青森駅からの定額タクシー事業に協力するなど、観光施設としてのアスパムの魅力紹介を図った。

③ 産業振興施設機能強化推進事業（県委託事業）

県のふるさと雇用再生特別対策事業により、昨年度から引き続き、「産業振興推進員」を配置し、県内の市町村等が実施する各種イベントの情報収集や本県産業振興の拠点施設であるアスパムへのイベント誘致を行い、アスパムの機能強化及び情報発信力の強化を図った。

◆期間：平成21年12月1日～平成24年3月31日

◆配置人員：2名

(2) 青森県地場セレクト運営事業

地場産品の販路拡大を図るため、県内各地から特色あるこだわりの逸品やストーリー性のある商品の掘り起こしを行い、紹介・販売する「青森県地場セレクト」の運営を行った。販売アイテム数の増加に努め、実演販売のほか、おすすめ商品・季節商品等の提案・展示コーナーを新設し、積極的に宣伝・販売を行った。

◆取扱アイテム数：今年度拡充分 31品目
合計アイテム数 331品目

4. 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上のため駐車場運営及び周辺を含めた施設活性化策を行った。

(1) 一般駐車場運営

一般駐車場については、引き続き、自動精算機を活用した24時間営業の実施、館内利用者への割引サービスの提供、青森市内ホテル宿泊者に対する特別価格設定により利用者増を図った。

(2) バス駐車場運営

団体客等が利用する貸切りバスの駐車場を確保するとともに、夜間のバス駐車場利用拡大による収入増を図るほか、屋外イベントの試験的实施など有効活用を図った。

(3) 「あおり光のファンタジー」事業

東北新幹線全線開業に向けて、アスパム正面をライトアップし、ベイエリア周辺施設や近隣商店街などエリアと一体になった都市型・滞在型観光の魅力向上とアスパムへの誘客を図った。

また、同機材を県内イベントへ貸出しし、冬季観光の振興を図った。

- ① アスパムのライトアップ
 - ◆時期：平成 22 年 11 月 5 日(金)～平成 23 年 3 月 10 日(木)

- ② 機材の貸出し
 - ◆イベント：十和田湖冬物語 2011
 - ◆期間：平成 23 年 2 月 17 日(木)～27 日(日) 11 日間